

# 平成30年度事業報告

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

一般社団法人 日韓経済協会

## 目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	3
III. 諮問委員会	-----	5
IV. 日韓経済人会議	-----	6
V. 日韓新産業貿易会議	-----	11
VI. 青少年交流事業	-----	12
VII. 調査・広報活動	-----	16
VIII. その他事業及び出来事等	-----	18
IX. 会員異動	-----	20

# I. 総 会

## A. 第6回定時社員総会

第6回定時社員総会は平成30年6月27日、東京都千代田区丸の内2-3-1三菱商事ビルディング4階G-01会議室で開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案を審議の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

- |              |        |  |
|--------------|--------|--|
| 1. 日         | 時      | 平成30年6月27日(水)                            |
|              | 開 会    | 午後3時00分                                  |
|              | 閉 会    | 午後4時00分                                  |
| 2. 場         | 所      | 東京都千代田区丸の内2-3-1<br>三菱商事ビルディング 4階 G-01会議室 |
| 3. 正 会 員 総 数 |        | 73名                                      |
| 4. 出席正会員数    |        | 58名                                      |
|              | (内 訳)  |  |
|              | 正会員出席者 | 13名                                      |
|              | 委 任 状  | 45名                                      |
| 5. 議 事       |        |  |
|              | 決議事項   |  |
|              | 第1号議案  | 平成29年度事業報告承認の件                           |
|              | 第2号議案  | 平成29年度収支決算報告承認の件                         |
|              | 第3号議案  | 公益目的支出計画実施報告承認の件                         |
|              | 第4号議案  | 平成30年度事業計画及び収支予算承認の件                     |
|              | 第5号議案  | 定款変更の件                                   |
| 6. 報 告 事 項   |        |  |
|              | (1)    | 諮問委員会副会長及び理事委嘱の件                         |
|              | (2)    | 顧問委嘱の件                                   |
|              | (3)    | 相談役委嘱の件                                  |

## B. 平成30年度臨時社員総会

平成30年度臨時社員総会は定款規定により書面表決で原案どおり承認された。

1. 日 時                   平成30年7月24日（火） 書面表決
2. 議決権を行使することができる社員総数                   73名
3. 議決権を行使することができる社員総数の議決数           73個
4. 行使された議決件数   73個
5. 議 事

決議事項

第1号議案 理事選任の件

## Ⅱ. 理 事 会

### A. 平成30年度第1回理事会

1. 日 時 平成30年6月12日（火）

2. 議 案

第1号議案 第6回定時社員総会開催の件

第2号議案 第6回定時社員総会付議事項承認の件

（1）平成29年度事業報告(案)

（2）平成29年度収支決算報告(案)

（3）公益目的支出計画実施報告(案)

（4）平成30年度事業計画及び収支予算

（5）定款変更の件

第3号議案 諮問委員会副会長及び理事推薦承認の件

第4号議案 顧問推薦承認の件

第5号議案 相談役推薦承認の件

### B. 平成30年度第2回理事会

1. 日 時 平成30年7月9日（月） 書面表決

2. 議 案

第1号議案 平成30年度臨時社員総会開催の件

第2号議案 平成30年度臨時社員総会付議事項承認の件

（1）理事選任の件

### C. 平成30年度第3回理事会

1. 日 時 平成30年8月6日（月） 書面表決

2. 議 案

第1号議案 常務理事選定の件

第2号議案 新規加入会員承認の件

**D. 平成30年度第4回理事会**

1. 日 時 平成30年11月16日(金) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 顧問推薦承認の件

**E. 平成30年度第5回理事会**

1. 日 時 平成31年3月28日(木) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 平成31年度事業計画(案)の件

第2号議案 平成31年度収支予算(案)の件

第3号議案 職員就業規則及び準職員就業規則改定の件

### Ⅲ. 諮問委員会

#### 第6回 諮問委員会

1. 日 時 平成30年12月14日(金)  
17:00～19:00

2. 場 所 三菱クラブ

3. 出席者 諮問委員会理事会社 4社

4. 議 題 (活動報告)

#### I. ビデオ上映

- ① 第50回日韓経済人会議
- ② 第25回日韓高校生交流キャンプ in 広島
- ③ 2017年度企業現場人材育成事業 (インターン実習プログラム)
- ④ 徴用工に関するニュース

#### II. 日韓経済協会の活動状況

## IV. 日韓経済人会議

第50回日韓経済人会議は、5月15日、16日の二日間、日本国東京（ホテルオークラ東京別館）において開催され、日本側からは佐々木幹夫団長以下188名、韓国側からは金 鉦団長以下114名が出席して開催された。

会 場：ホテルオークラ東京 別館地下2Fアスコットホール

主 題：『第50回日韓経済人会議』をともに喜び、経済・人材・文化交流を通じて  
次の50年を創造しよう」

〔2018年5月15日（火）〕

14：00～15：10 開会式

14：10～14：30 団長挨拶

□日本側団長：佐々木 幹夫 (一社)日韓経済協会会長

■韓国側団長：金 鉦 (キム・ユン) (社)韓日経済協会会長

14：30～15：10 来賓挨拶

□日本側来賓：高円宮妃久子殿下

□日本側来賓：安倍 晋三 日本国 内閣総理大臣

■韓国側来賓：文 在 寅 (ムン・ジェイン) 大韓民国大統領メッセージ  
李 洙 勲 (イ・スフン) 駐日本国大韓民国特命全権大使 (代読)

□日本側来賓：額賀福志郎 日韓議員連盟会長

■韓国側来賓：金 榮 三 (キム・ヨンサム) 産業通商資源部 貿易投資室長

□日本側来賓：榊原 定征 一般社団法人日本経済団体連合会 会長  
東レ株式会社 相談役

15：15～15：45 休憩

15：45～16：20 基調講演

□日本側講演：齋木 昭隆 三菱商事株式会社取締役／元外務事務次官

■韓国側講演：金 榮 柱 (キム・ヨンジュ) 社団法人韓国貿易協会会長  
元産業資源部長官

16：20～16：45 日韓新産業貿易会議の報告

□日本側報告：麻生 泰 チェアマン

■韓国側報告：安 宗 原 (アン・ジョンウォン) チェアマン

16：45～16：50 協会活動の一般報告

17：00～18：30 共同開催レセプション



〔2018年5月16日（水）〕

9：00～11：45 第1セッション 「日韓経済連携・交流 ―マイクロとマクロの視点―」

■コーディネーター：李 景 台（イ・キョンテ）前 高麗大学校 国際大学院 碩座教授

□日本側発表①：福田 康 住友商事株式会社 執行役員 物流インフラ事業本部長

『日韓企業の投資動向から見た

東南アジア拠点としてのベトナム・ミャンマーのご紹介』

■韓国側発表①：李 泳 官（イ・ヨンガン）東レ尖端素材株式会社 代表理事会長

『東レ尖端素材の成功要因を通して見た韓日経済協力・交流の拡大』

□日本側発表②：高橋 克周 株式会社三井住友銀行ソウル支店 韓国代表・支店長

『日韓経済連携におけるメガバンクの役割』

■韓国側発表②：徐 錫 崇（ソ・ソクスン）社団法人韓日経済協会 副会長

財団法人韓日産業・技術協力財団 専務理事

『Toward next 50 years!』

□討 論 者：藤吉 優行 ソウルジャパンプラブ理事長

韓国三菱商事株式会社代表理事社長

◇パネルディスカッション・質疑応答

11：45～13：00 昼食会

－団長団・新産業貿易会議チェアマン：（財団連絡協議会／共同声明審議）

……………（12F ケンジントンテラス）

－団 員：

……………（ 2F オーチャードルーム）

13：20～15：40 第2セッション 「未来志向 ―次の50年の視点―」

□コーディネーター：小針 進 静岡県立大学 国際関係学部教授

□日本側発表①：三木 篤行 J A三井リース株式会社 常務執行役員

前韓国三井物産株式会社代表理事社長／前S J C理事長

『これから50年の日韓関係に思いを寄せて』

■韓国側発表①：申 珏 秀（シン・ガクス）法務法人世宗 顧問／SETO FORUM理事長

元駐日本国大韓民国特命全権大使

『共に夢見る21世紀の韓国と日本―共生と協力の善隣関係―』

日韓次世代共同発表『自分にとっての日韓交流』

□日本側発表①：佐々木仁渚 上智大学文学部新聞学科

■韓国側発表①：金 世 勳（キム・セフン） 東北大学大学院理学研究科物理学専攻

□日本側発表②：大久保匠馬 松竹株式会社勤務

■韓国側発表②：林 起 勳（イム・キフン） 法務法人世宗勤務 弁護士

□討 論 者： 出石 直 日本放送協会 解説主幹

◇パネルディスカッション・質疑応答

15：40～16：00 休憩

16：00～16：20 閉会式 共同声明採択 / 両国団長挨拶

16：30～17：00 共同記者会見(両国団長) 別館地下2F トパーズ

## 共同声明

「『第50回日韓経済人会議』をともに喜び、  
経済・人材・文化交流を通じて次の50年を創造しよう！」

第50回日韓経済人会議は2018年5月15日と16日の両日にわたり日本国 東京に於いて開催され、日本側からは高円宮妃久子殿下、安倍晋三内閣総理大臣のご臨席を仰ぎ、佐々木幹夫団長以下188名、韓国側からは李洙勲駐日本国特命全権大使、金鉦団長以下114名が参加した。

この記念すべき会議の開会式において、高円宮妃久子殿下よりお言葉を賜り、両国政府を代表して安倍晋三内閣総理大臣、文在寅大韓民国大統領よりご祝辞を頂戴した。

日韓両国はこれまで幾多の困難に直面してきたが、両国経済人は日韓経済人会議を1969年以来一度も中断することなく両国交互に継続開催してきた。両国経済人はここまでの歩みを万感の思いをもって振り返りつつ、50回開催に至るまでの両国先輩諸氏のご努力に最大限の敬意と謝意を表するものである。

そしてここに、両国経済人は記念すべき第50回開催をともに喜び、次の50年に向けて日韓経済協力のみならず、経済・文化・人材交流の3本柱を中心とした未来志向の日韓関係の発展の為に新たな具体的努力を重ねていくことを誓い合った。

北東アジアの安全保障に重大な懸念をもたらしていた北朝鮮を巡る問題については、南北の和解への動き、北朝鮮の核問題の解決と周辺国の安定化の拡大を大いに期待するとともに、5月9日に3年ぶりの開催となった日韓中3カ国首脳会談の成功と併せ、北東アジアの発展につながることを希望する。

一方、経済面では貿易戦争の様相を見せる保護主義への懸念、市場の変動性の高まりなどが顕著になってきている中、それに対抗するように日本をはじめとする11か国によるCPTPPや他のFTA、メガFTAによるアジア「一つの経済圏の形成」を推進するためにも日韓のより緊密な協力が必要であることを再確認し、今回の第50回日韓経済人会議において、昨年9月にソウルで開催した第49回日韓経済人会議での共同声明を踏まえ、下記事項に関して両国経済人が連携して推進していくこととした。

「激動する国際情勢下における未来志向の日韓関係発展の方向性の確認」

日韓関係の葛藤を乗り越える未来志向の関係発展と様々なアプローチからアジア「一つの経済圏形成」を目指す努力を継続する。

そして、共生と協力の 21世紀の日韓関係のために日韓の潜在力を極大化することが必要であるということに認識を共にし、未来 50年に向けた協会・財団の役割を強化する。

「資源・インフラ輸出等第3国における日韓協業の一層の拡大」

両国が資源開発、インフラ輸出等を通じて第3国において共同してプロジェクトを創造し、国際競争力の強化と共に、第3国の総合的社会開発へ寄与する。

また、グローバル企業として成長した対韓投資企業の成功要因を通じて見た日韓経済協力・交流拡大の必要性について認識を共にし、日韓協力の拡大を期待する。

「日本の雇用問題、韓国の就職難など両国が直面する社会課題解決への相互協力」

日本の労働力の不足と韓国の若手人材の就職難を解決するための定期的なセミナー等の開催、少子高齢化社会への対応、環境・防災対策など日韓が直面する社会課題へより積極的に対応する。

「日韓青少年の育成・交流の継続及び充実」

日韓の次世代交流の継続及び充実が次の50年を創造するという信念のもと、日韓高校生交流キャンプ・日韓学生未来会議・韓国大学生の在韓日本企業に於けるインターンシップ研修、中小企業若手経営者の交流等、幅広い分野での育成を継続する。

「平昌から東京オリンピック・パラリンピックに向けて」

平昌冬季オリンピック・パラリンピックは世界にその熱気と友情を示し、成功裏に終了した。日韓両国経済人はその熱気と友情を東京に繋げ成功に導くために相互協力し、日韓の益々の観光/スポーツ交流発展を期待する。

「両国政府への期待」

経済・人材・文化交流の一層の拡大は未来志向の両国関係発展に不可欠なものである。是非、両国政府のご理解と継続的なご支援を期待する。

次回の第51回日韓経済人会議は2019年に韓国に於いて開催することとした。

2018年 5月 16日

日本側代表団団長 佐々木幹夫  
韓国側代表団団長 金 鉦

## V. 日韓新産業貿易会議

### 第 20 回日韓新産業貿易会議開催

1. 開催日：2019年3月13日(水) 18:30~20:30 (レセプション)  
3月14日(木) 09:00~15:30 (会議)
2. 場 所：韓国・ソウル特別市 インターコンチネンタルソウル COEX
3. 参加者：日本側：29名 韓国側：39名 合計68名
4. テーマ：『激動の世界経済における日韓協力』
  - ① 第1セッション：「日韓関係の新たな飛躍」
    - ・韓国側発表：張濟國 (チャン・ジェグック) 東西大学校総長  
主 題：「韓日関係の新たな飛躍」
    - ・日本側発表：森山朋之・ソウルジャパンクラブ理事長  
韓国三井物産代表理事社長  
主 題：「ソウルジャパンクラブの活動と課題」
  - ② 第2セッション：「日韓共通課題解決の実現」
    - ・韓国側発表者：徐錫崇 (ソ・ソクスン)  
韓日産業技術協力財団 専務理事  
主 題：「Selecting talented Koreans for Japanese Economy」
    - ・日本側発表者：小針進 静岡県立大学国際関係学部 教授  
主 題：「新局面を迎えた日韓間の関係構築への課題」
5. 総 括：
  - ・これまで長い間、日韓の経済人が努力して築き上げてきた「経済協力」「人材交流」「文化交流」により、日韓関係は我々が思っている以上に深く、重層的関係になっている。表層的な関係悪化には、揺るがない重層的かつ未来志向の関係構築へさらに繋げていくことが重要であり、我々の役目でもあるということで結論に達した。

## VI. 青少年交流事業

### 1. 青少年交流事業の実施状況

#### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで15年間で25回開催し、延べ2,300人近くの交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校の理解と協力が広がりつつある。
  
- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS：2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(公財)日韓文化交流基金 委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営し、2013年度、2014年度はJENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、参加費無料で運営した。2015年度からは、「JENESYS2.0/JENESYS2016～JENESYS2018」の業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金および参加者から参加費10,000円を徴収して運営している。
  
- ③ 本キャンプの最大の特徴は、事業企画を立てるという課題を日韓混成チームに与え、その共同作業により深い交流を体験させることである。この特徴を基本に、回を重ねる度にプログラムの充実を図り、参加校も増えてきている。2018年度の第25回キャンプでは、「国際平和文化都市」として世界的に知名度の高い広島市で開催。日韓両国の高校生が原爆ドームや広島平和記念資料館などを見学し、“国際交流を通じた世界平和”について考える機会をもった。また、両国高校生が10人前後の日韓混成チームに分かれ、広島市を代表する地域企業であるマツダ自動車本社工場およびオタフクソース本社工場、並びに広島市のゴミ処理場、呉市の牡蠣養殖場の山根水産で日本経済現場体験を行い、その体験学習を基に、世界平和につながり日韓両国で通用する新たなビジネス案を企画・発表した。

- ④ 今後の課題：本事業の成果・意義を社会的に訴求することで政府の継続的支援を得ていくことが肝要である。

(2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国でOB・OG会（JKSFF/KJSFF）を発足させ、2006年度から活動を始めた。日韓各々の団体が勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。
- ② 両国のOB・OG会活動最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前勉強・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2018年度は「日韓の各分野において両国を比較し、よりよい交流方法を提案する。」をテーマに、長崎市で第13回目を開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも、安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

**2. 青少年交流事業の実施実績**

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業] (第10回～第18回、第20回～第25回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省、駐韓日本大使館、韓国産業通商資源部/駐日韓国大使館
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人

第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人
第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 & 仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
第25回	日本・広島	2018年7月29日～8月2日	40人(34校)	35人	75人
延べ参加人数			1,141人	1,152人	2,293人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第3回～第6回、第9回～第10回、第11回～第13回は自主開催)
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人



第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
第13回	日本・長崎	2018年8月5日～10日	22人	20人	42人
延べ参加人数			202人	201人	403人

(3) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC (ソウルジャパンプラブ)
- ・協力・協賛：三菱商事、アサヒビール、JTB、JKSFF・KJSFF
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ参加	20人	20人
第2回	日本・北海道・青森	2018年1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(4) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人

## Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供  
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

### 1. 日報の配信

韓国メディアのニュースが近頃は多様化し、かつ、各メディアの日刊日本語版も数が増えている。韓国情勢と動向をリアルタイムに選別し情報として提供するため、韓国の通信社や新聞各社の日本語版から精選した記事を日報ベースで随時メールで配信した。

### 2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治経済動向・経済指標・社会文化・一般トピックス等のニュースを韓国の新聞記事や韓国政府機関HPから選別し、翻訳・校正・編集した情報を週報ベースで作成し配信した。

協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウォッチし、韓国語記事の内容チェックも行い、読みやすい日本語訳にするよう努めた。

なお、週報はEメールにて（一部ファックス）原則、毎週木曜日に会員宛てに送付した。

一方、当該週に翻訳した記事のうち週報に未掲載の記事はタイトル一覧を週報末尾に記載し、会員からの要望に応じ個別に要望記事をEメールする対応も行った。

2018年度は、2018年4月5日付け第1303号から2019年3月28日付け第1348号までの46週分を発行した。

### 3. 月報『協会報』の発行

協会報の主な内容は次の通り。

[**経済一般動向**]では、韓国の最新動向に沿った質感のある関連記事を、主として韓国の経済週刊誌（複数）から選択・翻訳したうえ情報として提供した。週報とは異なり、話題性の高いテーマに関するまとまった記事の掲載に留意した。

[**JKEレポート**]では、1カ月単位で（最近の韓国情勢）と（最近の日韓企業間の動向）を～報道日誌～として、多数の日韓メディア報道の中から主たるものを選び、日々の報道を整理して時系列的に掲載した。

[**資料**]では、韓国の主要な最新統計資料を選択し翻訳のうえ掲載した。

[**協会事業など**]では、協会の各種活動内容を紹介し報告した。

また、協会と共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動も幅広く報告した。

2018年度は、540号（2018年4月号）から551号（2019年3月号）まで月刊で計12冊を発行し、会員会社・関係団体等に配布した。

なお、協会報に掲載した[経済一般動向]の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り。

#### 4. 最近の統計指標で見た経済状況

貿易依存度の高い韓国の2018年実績(暦年)は、輸出6,055億 $\text{ドル}$ (前年比5.5%増)、輸入5,350億 $\text{ドル}$ (同11.8%増)、貿易収支黒字705億 $\text{ドル}$ だった。～産業通商資源部の速報値による～

輸出入を合わせた年間貿易額は2011年に1兆 $\text{ドル}$ を超えた。2015年と2016年は1兆 $\text{ドル}$ 未達となったが2017年に回復し、2018年は1兆1,405億 $\text{ドル}$ を達成した。2018年は過去初めて輸出6,000億 $\text{ドル}$ 突破を達成した(世界7番目)。

一方、韓国銀行発表の2018年の経常収支は764億 $\text{ドル}$ の黒字(前年785億 $\text{ドル}$ )で、1998年から21年連続で黒字を継続している。外貨準備高は2018年末で4,037億 $\text{ドル}$ (2019年3月末4,053億 $\text{ドル}$ )を保有している。

韓国の実質GDP成長率は2011年以降2～3%台で推移しており2018年は2.7%(暫定値)だった。一方、2019年は成長率2.6%(韓国銀行3月末予想)と見通されている。

統計庁発表の若年失業率(15～29歳)は2019年3月に10.8%と依然として高く、若年層の就職難は引き続き大きな社会問題となっている。

また、家計負債は依然として増加が続き2018年末で1,535兆 $\text{ウォン}$ となっている。

## Ⅷ. その他事業及び出来事等

### 1. 第26回日韓・韓日フォーラム

- (1) 日 時：平成30年8月20日～22日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：是永専務理事、日韓学生未来会議メンバー

### 2. 日韓交流おまつり 2018 in Seoul (第14回)

- (1) 日 時：平成30年9月9日
- (2) 場 所：ソウルCOEX 展示場
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、金 侑貞青少年交流センター長

### 3. 日韓交流おまつり 2018 in Tokyo (第10回)

- (1) 日 時：平成30年9月22日～23日
- (2) 場 所：日比谷公園
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、木村理事、金 侑貞青少年交流センター長

### 4. 開天節(韓国建国記念日)レセプション

- (1) 日 時：平成30年10月3日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事

### 5. 日韓パートナーシップ宣言20周年記念シンポジウム

- (1) 日 時：平成30年10月9日
- (2) 場 所：ホテルオークラ
- (3) 参加者：是永専務理事、木村理事

### 6. 韓国大法院による徴用工判決に対する経済4団体共同コメント発表

- (1) 日 時：平成30年10月30日
- (2) 場 所：経団連会館
- (3) 4団体：日本経済団体連合会・日本商工会議所・経済同友会・日韓経済協会

### 7. 韓国徴用工判決に対する会員各社への説明会

- (1) 日 時：平成30年11月6日
- (2) 場 所：新有楽町ビル会議室
- (3) 参加者：外務省/経済産業省関係部局・会員各社・日本側メディア

**8. 賀詞交歓会（日韓経済協会及び日韓産業技術協力財団共同開催）**

(1) 日 時：平成 31 年 1 月 18 日

(2) 場 所：三菱クラブ

(3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、岡副会長、清原副会長、橋本副会長、井水副会長他会員各社、外務省、経済産業省、韓国大使館

**9. 駐日韓国企業連合会 韓日経済人交流の夕べ**

(1) 日 時：平成 31 年 2 月 1 日

(2) 場 所：帝国ホテル

(3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、前田常務理事

## IX. 会 員 異 動

### 1. 入会

- |                                    |                 |      |                        |
|------------------------------------|-----------------|------|------------------------|
| (1) 正会員<br>(会員名)<br>兼松株式会社         | (代表者)<br>上席執行役員 | 田中一生 | (入会年月日)<br>H30. 10. 01 |
| (2) 協力会員<br>(会員名)<br>国際商業会議所 日本委員会 | (代表者)<br>専務理事   | 西谷和雄 | (入会年月日)<br>H31. 01. 01 |

### 2. 退会

- |  |   |
|--|---|
| (1) 正会員<br>(会員名)<br>株式会社旭リサーチセンター<br>太平洋セメント株式会社 | (退会年月日)<br>H. 30. 09. 30<br>H. 31. 03. 31 |
|--|---|

### 3. 平成 31 年 3 月 31 日現在

正会員数	7 2 社
協力会員数	1 0 社

以上

# 月刊誌『協会報』の主要標題一覧

2018年4月（第540号）～2019年3月（第551号）

〔特集〕		2018年7月
2018年5月	* 韓日経済協会 金鉦(ギム・ユン)会長に旭日大綬章	* 大手600社の女性職員は24%に過ぎず * 70代以上の高齢者世帯が貧困層に転落
2019年1月	* 平成31年 年頭所感 (佐々木幹夫)	8月
〔特別寄稿〕		* G 2 貿易戦争、薄氷を踏む韓国経済 (A) 米国による2,000億ドルの関税爆弾に 中国は「応戦」 (B) 韓国内の主要産業への影響は？
2018年11月	* 【記者懇談会】日韓交流おまつり 2018 in Seoul * 「日韓交流おまつり2018」総評	* 最低賃金「8,350ウォン」によってもたらされた 猛烈な嵐～誰のための最低賃金か？「弱者の戦争」～ * 所得主導の成長が低迷 * 今年下半期の経済に暗雲 * 5月の青年失業率は過去最悪 * 日本での就職を狙う韓国の青年たち
〔経済一般動向〕		9月
2018年4月	* 米国の利上げにより韓米間で金利が逆転 * 住宅価格の上昇トレンドは終わったのか * 労働時間短縮の補完策、 変形労働時間制は先行き不透明 * 中小企業に就職する青年に年1,000万ウォン ～果して実効性はあるのか～ * 韓国10大グループの悩みと課題 V. ロッテグループ VI. ポスコ (POSCO) VII. GSグループ VIII. ハンファグループ IX. 現代重工業グループ X. 新世界グループ	* 「史上最悪」の韓国の自営業 * コンビニ2020年大量閉店説、「業界再編」へ * 韓国のコンビニ、なぜこうなったのか * M&Aの勝負師、SKグループ崔泰源会長の20年 * 乱気流の中にある航空業界の今後は？ * 北朝鮮の1人当たり国民所得は韓国の23分の1
5月	* 韓米FTA改定交渉妥結 * 国民所得は12年ぶりに3万ドルを超えたが・・・ * 自営業者向け融資が不安な5つの理由 * 政府規制を求める仮想通貨業界の本音 * 海外で笑うネイバー、泣くカカオ * 南北和解モードの経済的影響は？ * 製造業低迷に加え輸出もマイナス、 「危機的な韓国経済」	10月
6月	* 韓国の時間当たり労働生産性はOECD最低水準 * 韓国企業の組織文化は依然として落第点 * LG化学、「アーニングサプライズ」で株価も不安定 * 危機に瀕する韓国製スマートフォン * 2018年の注目すべき次世代新薬 (A) 人工知能で革新的新薬物質を探索 (B) 舞台から去ってゆく新薬	* 所得主導による成長の虚像 * 「Jノミクス」に関する一般人アンケート調査 経済政策への評価は100点満点で57点 * 雇用拡大を掲げた政府、「雇用惨事」に衝撃 失業者113万人…世界金融危機以降で最悪 * 企業の景況感は18ヶ月ぶり最悪に * 物議を醸す470兆ウォンの来年度「スーパー予算」 * 所得上・下位層間の所有住宅価格の差は33.8倍 * ソウルの住宅価格、なぜ上昇が続くのか
7月	* 急速に進むウォン安でコスビ(株価)揺らぐ * アジア通貨危機(IMF事態)が再来か？ (A) トップ企業もお粥をすすり、 外国人の資金は「引き潮」 (B) 「下半期に危機が訪れる可能性あり」 というのは反企業政策の逆襲 * 外資の二つの顔 * 「週52時間労働制」で大混乱	11月
		* 景気後退の泥沼に落ち込んだ韓国経済 * 企業のエクソダス現象、加速化の恐れ * 失業者、9ヶ月連続で100万人超え…雇用不振は継続 * 1人当たり家計負債、3,000万ウォン突破秒読み * 租税ポピュリズムが幅をきかず韓国経済の4大争点 * ソウルの住宅価格を抑制する妙案は？ (1) グリーンベルトの経済学 (2) グリーンベルトの政治学
		2018年12月
		* 2019年の経済大予測 ～危機を乗り越え突破口を模索せよ～ I. 韓国・世界経済の予想天気図 II. 2019年の韓国経済のカギを握る10大イシュー III. 2019年の産業別天気図 IV. マクロ指標から見る2019年の韓国経済 * サムスンバイオロジクスの取引停止による波紋 * 「規制の逆説」に陥った不動産市場
		2019年1月
		* 2019年の経済大予測

2019年1月	(1) 好景気の終焉と共に低成長の泥沼へ入るのか (2) 韓国経済は低迷に陥るのか (3) 家計負債の雷管は起爆するのか (4) 半導体の好況は続くのか (5) 危機の自動車・造船は低迷から脱するのか * 韓銀の金利政策はいずれこへ * 日本での就職は若年失業の解決策になり得るか * 日本は本当に「就職天国」なのか	2018年5月	* 2018年4月国際通貨基金（IMF） 世界経済展望を発表 * 2018年3月の生産者物価指数（韓国銀行） * 2018年3月の国際収支（暫定）（韓国銀行） * 2018年1～3月期実質国内総生産（速報）（韓国銀行） * 2018年4月の輸出入動向（産業通商資源部） * 2018年4月の消費者物価動向（韓国統計庁） * 2018年4月末の外貨準備高（韓国銀行） * 2018年4月の雇用動向（韓国統計庁） * 2018年4月の韓国自動車産業の月間動向 （産業通商資源部）
2月	* 南北首脳の新年の辞、経済関連の内容を見る * 韓国銀行、成長率見直しを 下方修正・政策金利据え置き * 今年に変わる経済制度は何か * 水素経済活性化ロードマップ発表 * 世界にはばたくKフード（韓国グルメ）	6月	* 2018年1～3月期国民所得（暫定）（韓国銀行） * 2018年3月末の家計信用（暫定）（韓国銀行） * 2018年3月末国際投資対照表（暫定）（韓国銀行） * 2018年4月の産業活動動向（韓国統計庁） * 2018年4月の国際収支（暫定）（韓国銀行） * 2018年5月の輸出入動向（産業通商資源部） * 2018年5月の消費者物価動向（韓国統計庁） * 2018年5月の雇用動向（韓国統計庁） * 2018年5月末の外貨準備高（韓国銀行） * 2019年度予算の要求現況（企画財政部）
3月	* ハノイ宣言決裂後の朝鮮半島 * 経社労委が弾力勤労性の単位期間 3か月→6か月で合意 * 2019～2023年のR&D投資戦略の青写真 * 包容国家ロードマップ、 80余りの政策を総花的に羅列 * 現代重工業が宇造船を買収… …「メガ造船所」誕生 * 稼働年齢上限65歳の時代、何が変わるのか	7月	* 2018年5月の国際収支（暫定）（韓国銀行） * 2018年6月の消費者物価動向（韓国統計庁） * 2018年6月の雇用動向（韓国統計庁） * 2018年6月及び上半期の輸出入動向（産業通商資源部） * 2018年6月末の外貨準備高（韓国銀行） * 「OECD韓国経済報告書」発表（企画財政部） * 2018年下半年経済展望（韓国銀行）
〔新刊書案内〕			
2018年4月	* 『金鍾泌（キム・ジョンピル）証言録』の紹介 及び限定贈呈		
〔JKレポート〕			
2018年4月 ） 2019年3月	* 最近の韓国情勢～報道日誌～	8月	* 2018年4～6月期実質国内総生産（速報）（韓国銀行） * 2018年6月の生産者物価指数（韓国銀行） * 2018年6月の国際収支（暫定）（韓国銀行） * 2018年7月の輸出入動向（産業通商資源部） * 2018年7月の消費者物価動向（韓国統計庁） * 2018年7月末の外貨準備高（韓国銀行） * 2018年7月の韓国自動車産業の月間動向（産業通商資源部） * 2018年7月の雇用動向（韓国統計庁）
2018年4月 ） 2019年3月	* 最近の日韓企業間の動向～報道日誌～	9月	* 2018年6月末の国際投資対照表（暫定）（韓国銀行） * 2018年第2四半期の家計信用（暫定）（韓国銀行） * 2018年4～6月期の国民所得（暫定）（韓国銀行） * 2018年7月の生産者物価指数（韓国銀行） * 2018年7月の国際収支（暫定）（韓国銀行） * 2018年8月の輸出入動向（産業通商資源部） * 2018年8月の消費者物価動向（韓国統計庁） * 2018年8月の雇用動向（韓国統計庁） * 2018年8月の韓国自動車産業の月間動向（産業通商資源部） * 2018年8月末の外貨準備高（韓国銀行）
〔資料〕			
2018年4月	* 2018年2月末の国際収支（暫定）（韓国銀行） * 2018年2月の生産者物価指数（韓国銀行） * 2018年1～3月期の外国人直接投資動向 （産業通商資源部） * 2018年3月の輸出入動向（産業通商資源部） * 2018年3月の消費者物価動向（韓国統計庁） * 2018年3月の雇用動向（韓国統計庁） * 2018年3月末の外貨準備高（韓国銀行） * 2018年3月の韓国自動車産業の動向 （産業通商資源部） * 2018年の経済展望（修正）（韓国銀行）		



2018年10月	2018年8月の生産者物価指数（韓国銀行）	〔協会事業など〕		
	* 2018年8月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2018年4月	*（一社）日韓経済協会の主要活動	
	* 2018年9月の輸出入動向（産業通商資源部）	5月	* 第19回日韓新産業貿易会議開催	
	* 2018年9月末の外貨準備高（韓国銀行）	9月	*（一社）日韓経済協会の主要活動	
	* 2018年9月の雇用統計（韓国統計庁）		* 第13回「日韓学生未来会議」開催報告	
	* 2018年9月の韓国自動車産業の月間動向（産業通商資源部）		* 第25回「第25回日韓高校生交流キャンプ」開催報告	
	* 2018年第3四半期外国人直接投資動向（産業通商資源部）		* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文①	
11月	* 2018年9月の生産者物価指数（韓国銀行）	10月	* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文②	
	* 2018年9月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		11月	* 韓国大法院の判決について
	* 2018年10月の輸出入動向（産業通商資源部）			*（一社）日韓経済協会の主要活動
	* 2018年10月末の外貨準備高（韓国銀行）	* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文③		
	* 2018年10月の雇用統計（韓国統計庁）	12月	* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文④	
	* 2018年10月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2019年1月	*（一社）日韓経済協会の主要活動
12月	* 2018年10月末の生産者物価指数（韓国銀行）	12月	* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文⑤	
	* 2018年10月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文⑥	
	* 2018年11月の輸出入動向（産業通商資源部）	2019年1月	* 第51回日韓経済人会議のお知らせ（ご案内）	
	* 2018年11月の消費者物価動向（韓国統計庁）		* 第51回日韓経済人会議延期のお知らせ	
	* 2018年11月末の外貨準備高（韓国銀行）		* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文⑦	
	* 2018年11月の雇用統計（韓国統計庁）			
2019年1月	* 2018年11月の生産者物価指数（韓国銀行）	2月	* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文⑧	
	* 2018年11月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		* 第51回日韓経済人会議のお知らせ（ご案内）	
	* 2018年11月末の外貨準備高（韓国銀行）	3月	* 第51回日韓経済人会議延期のお知らせ	
	* 2018年（年間と12月）の輸出入動向 （産業通商資源部）		* 『第25回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文⑨	
	* 2018年12月及び年間の雇用統計（韓国統計庁）			
	* 2019年1月の消費者物価動向（韓国統計庁）			
2月	* 2018年の実質国内総生産（速報）（韓国銀行）	〔財団活動の紹介〕		
	* 2018年12月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2018年10月	*（一財）日韓産業技術協力財団の主要活動	
	* 2018年12月の生産者物価指数（韓国銀行）		* 企業現場人材育成事業 （インターン実習プログラム）	
	* 2019年1月の消費者物価動向（韓国統計庁）			
	* 2019年1月の輸出入動向（産業通商資源部）			
	* 2019年1月及び年間の雇用統計（韓国統計庁）			
	* 2019年1月末の外貨準備高（韓国銀行）			
3月	* 2019年1月の国際収支（暫定）（韓国銀行）			
	* 2019年1月の生産者物価指数（韓国銀行）			
	* 2019年2月の消費者物価動向（韓国統計庁）			
	* 2019年2月の輸出入動向（速報）（産業通商資源部）			
	* 2019年2月及び年間の雇用統計（韓国統計庁）			
	* 2019年2月末の外貨準備高（韓国銀行）			
	* 2018年第4四半期と年間の国民所得（韓国銀行）			